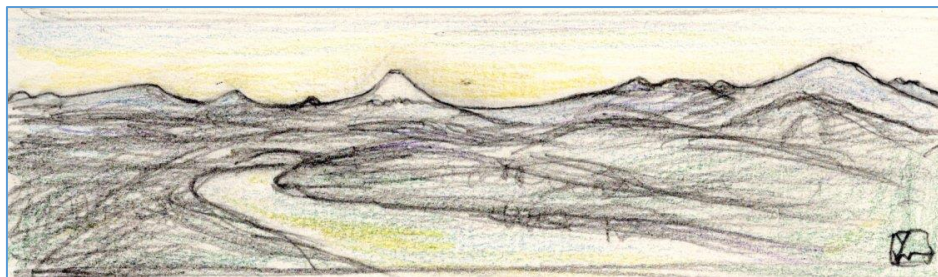


個人山行

秦野：金目川中流域

- ◆日程 2019年10月23日(水)
 ◆メンバー L：渡辺 豊
 ◆天候 晴

金目川中流域には里山の原風景があった。豊かな水をたたえた金目川。ひつじ田が青々と広がる。均整のとれた富士山。大きい大山。父娘が並んでいる(父親は大山で富士山が娘です)。草花は秋を歌う。小鳥は木の実を求めて飛びまわる。ゆっくり歩いた。



二子山 明神岳 金時山 矢倉岳 富士山 金目川 丹沢山塊 大山 大山三峰山
 「金目川から望む山々」2019-10-23

蟻を釣る オシロイバナ(オシロイバナ科) 黒い実をつぶすと白い粉が出てくる。これをおしろいに見立ててオシロイバナという。花の根元を千切ると蜜が出る。これで蟻を釣ることができる。オシロイバナは花全体が有毒。強い腹痛や下痢を起こします。

台湾ンホトトギス ユリ科 今年暑かったので台湾ンホトトギスがいっぱい咲いている。花のホトトギスは「杜鵑草」または「杜鵑」、鳥のホトトギスは「不如帰」と書く。

サガミジョウロウホトトギス 原生林 10月号に写真入りの記事が載っていた。ビックリ。感動!羨ましい…。サガミジョウロウホトトギスが見られて本当に良かったですね。その昔、私もカイサク新道の沢筋で見たことが有るような無いような?濡れた岩にダランと垂れ下がっていた黄色い花。相模上臈杜鵑だったかなあー?はっきりしません。

ここでジョウロウホトトギスの仲間の復習をしておきます。ジョウロウホトトギスまたの名を①トサジョウロウホトトギス~四国から九州に分布。②キイジョウロウホトトギス~紀伊半島。③スルガジョウロウホトトギス~天守山地。そして④サガミジョウロウホトトギス~丹沢山塊。ホトトギスには日本の秋を感じます。

カラムシとフクラスズメ カラムシ(イラクサ科)は植物で、麻のように丈夫な繊維が取れる。道端に1.5m程の高さに成長し、葉が食い尽くされています。食べたのはフクラスズメ(ヤガ科)の幼虫で、7~8センチにもなります。何十匹ものフクラスズメの幼虫が取り付いているはず。つつくと身体を激しく揺らして威嚇します。植物全体がゆらゆらと大きく揺れます。毛虫が揺らしているとは信じられません。驚きの光景です。

(記：渡辺 豊)

CT：秦野 9:20 - 金目入口バス停 10:10 - パターゴルフ場(昼) 12:10/12:45 -
 三笠川 13:00 - 妙円寺 13:15 - 木村植物園バス停 41:56 発 - 秦野 15:20